

1. 科目名 (単位数)	福祉事業所経営管理論Ⅰ (2単位)	3. 科目番号	SSMP3312
2. 授業担当教員	平 仁		SCMP3312
4. 授業形態	講義、グループディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>現在、わが国では介護保険事業、障害者総合支援事業において、福祉サービスの利用者による事業所選択および事業者と利用者の利用計画の仕組みが実施され、必要経費は利用者の負担金と行政による利用料補助額によって賄われている。また、社会福祉法人、営利法人(株式会社等)及びNPO法人等の多様な民間組織も参入が認められ、福祉サービスの提供主体が多様化し、主体的管理運営がもためられている。そのため、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、福祉サービスの供給体制の整備および充実を図ることが必要とされる。すなわち、社会福祉事業の公共性と事業主体のあり方が問われる状態にある。</p> <p>そのために、適正、効果的な事業所経営のためには、施設長をはじめとする管理者、相談援助活動に専門的に従事する社会福祉士等は、福祉事業所やサービス提供に関する経営管理の組織構造、効率的なサービス供給と運営の実際等経営論についての基礎知識も身に付けることが必要である。</p> <p>本講座では、講義科目として一般的知識の習得を図り、秋期に開講する「福祉事業所経営管理論Ⅱ」への橋渡しを行う。</p>		
8. 学習目標	<p>講義科目として、以下の一般的知識の習得を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福祉事業所の組織論、行政機関および多種専門機関との関連</li> <li>2. 福祉事業所経営における利用者へのサービス提供管理、情報管理</li> <li>3. 福祉事業所の財務・人事・労務管理、および専門的職能向上のための方策</li> <li>4. 福祉事業所経営者、管理者の経営上の問題解決の意思決定の方法</li> </ol>		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	アサインメントは課さない 期末レポート課題は追って授業内で発表する		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 宮田裕司編『社会福祉施設経営管理論 2021』全国社会福祉協議会 2020年(改訂12版) (ただし、シラバスの事前学習については同2020年版(改訂11版)を利用している。)</p> <p>【参考書】 宇山勝儀・船水浩行編『福祉事務所運営論〔第4版〕』ミネルヴァ書房 2016年 宇山勝儀・小林理編『社会福祉事業経営論』光生館 2011年 宇山勝儀編『社会福祉施設経営論』光生館 2005年</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会福祉事業の経営に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。</li> <li>2 社会福祉事業の経営学的な思考が身についたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度 40%</p> <p>レポート 60%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>社会福祉士資格の取得を目指す皆さんには、その最終的な目標の1つとして自分が思い描く理想的な福祉施設を築くことを挙げる方もいらっしゃると思います。しかし、多くの皆さんは、福祉の現場で活躍するために、社会福祉士になるための勉強はしていても、施設長や施設経営者になった際に必要となる経営学についてまでは、中々手が回らないのが実情であろうと思います。この講座は、そのような皆さんに対し、社会福祉事業所の経営・管理に焦点を絞って経営学の知識を提供するものになります。春期の本講座は経営学の基礎知識の習得に焦点を当てるため、テキストベースの座学が中心になります。しっかり復習をして実践編となるⅡにつなげ、将来の夢の実現に向けての準備を進めて頂きたいと思っております。</p>		
13. オフィスアワー	別途、通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション 社会福祉法人と社会福祉施設	事前学習	テキスト pp. 2~68 を読んでくること。
		事後学習	社会福祉事業の経営環境の変化を理解する。
第2回	社会福祉法人・施設の経営管理	事前学習	テキスト pp. 70~97 を読んでくること。
		事後学習	S W O T 分析の仕組みを理解する。
第3回	問題解決とモチベーション	事前学習	テキスト pp. 105~126 を読んでくること。
		事後学習	問題解決とモチベーションの関係について理解する。
第4回	組織におけるリーダーシップ	事前学習	テキスト pp. 127~137 を読んでくること。
		事後学習	リーダーシップの役割と機能について理解する。
第5回	福祉サービスの品質マネジメント	事前学習	テキスト pp. 140~164 を読んでくること。
		事後学習	マーケティングの要素としての4つのPと3つのPを理解する。
第6回	リスクマネジメントとサービス管理	事前学習	テキスト pp. 169~197 を読んでくること。
		事後学習	リスクマネジメントについて理解する。
第7回	第三者評価と権利擁護	事前学習	テキスト pp. 203~237 を読んでくること。
		事後学習	福祉サービスの評価のあり方や、社会福祉施設における権利擁護のあり方について理解する。
第8回	社会福祉法人・施設の人事管理	事前学習	テキスト pp. 244~274 を読んでくること。
		事後学習	新しい働き方改革に即した人事管理のあり方について考える。
第9回	社会福祉法人・施設における職員研修	事前学習	テキスト pp. 275~290 を読んでくること。
		事後学習	O J T と O f f J T について理解する。
第10回	福祉施設の労務管理	事前学習	テキスト pp. 300~325 を読んでくること。
		事後学習	日本における労働法制のあり方について理解する。

第11回	社会福祉施設の会計管理と財務管理	事前学習	テキスト pp. 328～350、359～383 を読んでくること。
		事後学習	社会福祉法人会計について理解する。
第12回	利用者情報の保護と公益通報	事前学習	テキスト pp. 386～396、400～403 を読んでくること。
		事後学習	プライバシー権と情報管理の重要性について理解する。
第13回	広報活動	事前学習	テキスト pp. 404～411 を読んでくること。
		事後学習	現代における広報戦略の重要性について理解する。
第14回	社会福祉施設の整備、維持管理	事前学習	テキスト pp. 420～447 を読んでくること。
		事後学習	社会福祉施設の建物・設備の整備、維持管理を理解する。
第15回	福祉用具	事前学習	テキスト pp. 448～454 を読んでくること。
		事後学習	福祉用具の活用について考える。